

一般質問発言通告要旨

(令和4年三島市議会11月定例会)

発言 順位	発言者	発言要旨	備考
1	野村 諒子	1 市民に期待される三島駅南口東街区となるための取り組み 2 外国人労働者に選ばれるまちづくり	11/30 (水)
2	沈 久美	1 子どもの健やかな身体について。肥満と思春期早発症 2 自殺の防止対策について。子ども向けと大人向けそれぞれの取り組み 3 「みどりの食料システム戦略」を促す乳幼児期保護者等への取り組みについて	
3	村田 耕一	1 市民満足度の向上を 2 市管理地や荒廃地の草刈り等整備支援策	
4	古長谷 稔	1 市民に寄り添った行政サービスを提供する新体制の構築に向けて 2 三島駅南口東街区再開発における市民合意形成プロセスについて 3 三島市沢地の違法盛り土の危険性について（再質問）	
5	河野 月江	1 三島駅南口東街区再開発事業における導入医療機能と権利変換計画同意について 2 市内小学校における通学用カバンについて	12/1 (木)
6	岡田 美喜子	1 子どもを産み育てやすい環境の整備～孤立防止について～ 2 外国ルーツの子どもたちの就学支援の充実について	
7	杉澤 正人	1 市内児童生徒のコロナ禍の影響によるいじめ・不登校の状況について 2 青少年相談室、ふれあい教室の活動状況について 3 山中城跡整備、向山古墳群整備について	
8	土屋 利絵	1 不登校ゼロに向けて、誰一人取り残さない取り組みについて 2 箱根の山をもっと健康に、もっと身近なものにしていくために	
9	堀江 和雄	1 子ども子育て政策のアイデアと女性の政策司令塔 2 これからの三島の戦略性 3 地域再生の主体は民間活用	12/2 (金)
10	中村 仁	1 大場・函南IC周辺の土地開発・まちづくりについて 2 公園管理の自治会委託など市内公園等の管理・保全に対する三島市の考え方 3 新型コロナウイルスに向き合う三島市の考え方	
11	藤江 康儀	1 三嶋大祭り等の検証等について 2 市民力を生かした文化芸術の街づくりについて	
12	宮下 知朗	1 自転車の活用促進について 2 地域学校協働本部における活動の更なる充実に向けて	
13	石井 真人	1 豊岡市政これまでの12年間の実績と評価 2 今後4年間の三島市における財政上重要な事業について	12/5 (月)
14	服部 正平	1 交通安全推進、交通事故ゼロに向けた取り組みについて 2 三島市一般廃棄物最終処分場の現状、新規最終処分場、焼却場について	
15	甲斐 幸博	1 豊岡市長3期12年の総括と今後について	

一般質問発言通告書

発言順位 1番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 4年 11月 22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 14番 野村 諒子

質問事項 1	市民に期待される三島駅南口東街区となるための取り組み
具体的内容	
地球の温暖化と合わせて、新型コロナ感染の蔓延とウクライナ侵攻により、世界規模で経済が大きなダメージを受けています。	
三島市でも外国人観光客もいなくなり、観光人口も激減したことから大きな影響が出ていると言わざるを得ません。	
そこで、今後のまちの経済を立てなおし活気のあるまちをつくっていくためには、まちの顔とも言える三島駅南口東街区の開発は重要な役割を果たすものと思います。	
市民の関心を高めるだけでなく期待され、利用される場所となるためには、どのようなことが求められるのか、その取り組みについて伺います。	
1 建設資材の高騰等による工事費高騰への対応はどうか。	
2 工事費の高騰等による事業のスケジュールへの影響と今後の進め方はどうか。	
3 導入機能の検討状況は。(社会状況の変化にどう対応するのか。)	
4 広域健康医療拠点としての具体的な導入機能は何か。	
5 三島らしい機能の集積や特徴あるテナントの導入に向けた取り組みはどうか。	
6 東街区の開発による経済効果や成果目標はどうか。	
質問事項 2	外国人労働者に選ばれるまちづくり
具体的内容	
2000年には、三島市のゼロ歳児の人数は985人とされていますが、2022年の10月31日現在では577人、22年間で約41%減少したことになります。	
少子化は、単に人口が減るということではなく、その後の就労人口の減少により、あらゆる産業が成り立たなくなることを示しています。	
少ない労働者をあらゆる産業が奪い合うことになり、その結果、労働賃金上昇から物価の上昇を招くことにもなります。	
また、技術の伝承がされなくなり産業界にとっては産業そのものが成り立たなくなる可能性があります。	
少子化を止める取り組みはされていますが、減少を食い止める効果が出ているとは思えません。	
このような状況を打破するためには、外国からの労働者を受け入れていくことが重要になってきます。今の日本の産業の中でも、技能実習生等の外国人労働者が支えている産業が数多くあります。円安が進み決して有利な条件ではない中で、日本に来て三島市で働きたいと思っただけのまちづくりが今後は必要ではないかと考えて、外国人労働者への対応について伺います。	
1 三島市の外国人労働者の状況について(出身国、就労先、勤務状況などの主な傾向)	
2 外国人労働者の課題と取り組みについて	
3 地域社会との交流の課題と取り組みについて	
4 外国人労働者に選ばれるまちにするための取り組みについて	

一般質問発言通告書

発言順位	2番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和4年11月22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 7番 沈 久美

質問事項1	子どもの健やかな身体について。肥満と思春期早発症
具体的内容	ウイズコロナにおける新しい生活様式において、子どもの身体に少なからずの影響が出ているのではないかと感じています。外出の自粛や活動制限がある中で、子どもたちは在宅での活動が増え、運動不足、おやつの食べすぎなどが見受けられます。コロナの影響ばかりとは言えませんが、近年の子どもの身体について気になる点がいくつかある中で、今回は肥満と思春期早発症について、以下伺います。
	1 子どもの肥満の現状について
	2 肥満増加の原因として考えられること及び肥満から危惧されることについての見解は。
	3 肥満の子どもを増やさない対策及び子どもの肥満改善のための対策について
	4 肥満や生活習慣が影響すると言われ、保護者の間で話題になっている「思春期早発症」の現状について
質問事項2	自殺の防止対策について。子ども向けと大人向けそれぞれの取り組み
具体的内容	県は自殺対策の新たな指針となる「第3次自殺総合対策行動計画」の素案をまとめました。自殺死亡率が高水準で推移している若年層や女性への対策強化がなされるとのことですが、大人に対しての対策とともに、子どものうちから意識的に自殺予防を図っていくことも併せて必要ではないでしょうか。そこで以下について伺います。
	1 三島市における自殺に関する現状と課題。及び子どもに対する自殺防止対策としてどのような取り組みをされているか。
	2 自殺に向かわせない心の育成には子どもの頃からの宗教的情操の涵養と継続性が大事と考えるが、公立の学校では道徳の授業がこれに代わるものとして極めて重要である。命を大切にするという観点における道徳の取り組み状況を伺う。
	3 女性対策に加え、三島では50代男性対策も必要。大人向け自殺防止対策の取り組み状況は。
	4 自殺防止対策として地域の力を借りることについての見解について
質問事項3	「みどりの食料システム戦略」を促す乳幼児期保護者等への取り組みについて
具体的内容	環境保全や有機農業など、持続可能な食料システムを提唱する「みどり戦略」策定から1年半が経過。全国的に農と食におけるさまざまな課題や遅れが具体的に表出する中で、三島においては推進への着実な歩みがあることをお見受けしています。長期的な戦略であることから、5年先、10年先を見据え、乳幼児をもつ保護者やこれから親になろうという人への啓発等、次世代を対象に先手を打つ必要性を感じています。とくに有機農産物との親和性向上をねらう啓発活動について見解を伺います。
	1 パンパママセミナー、離乳食の講習会、その他の集団教育やイベントなど、若い世代を対象とした有機作物の使用を促す啓発活動の可能性について

一般質問発言通告書

発言順位 3番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和4年11月22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 3番 村田 耕一

質問事項 1	市民満足度の向上を
具体的内容	
市民の方はさまざまな場面で市役所にて手続きを行う場合に、待ち時間が発生する。また粗大ごみ処理サービスを受ける場合にも待ち時間が発生する。その他に楽寿園の車椅子移動の改善策と都市計画道路の一部供用開始までの時間短縮が求められると考え、以下に現状と改善策と見通しを伺う。	
1 証明書関係はコンビニでの出力ができるが、届け出関係は窓口で行わなければならない。現状たとえば転入、転居、転出の待ち時間を含めた手続き時間は繁忙時にどのくらいと把握しているか。	
2 市内での転居届完了まで2時間かかったとお声を頂いているが、すぐにでも改善が必要である。待ち時間短縮をどう推進しようとしているか、DX推進と窓口業務の民間委託の2つについて見解を伺う。	
3 粗大ごみ持ち込み時、清掃センターで待ち時間が発生している。これを予約制にして待ち時間解消を図れないか。	
4 都市計画道路谷田幸原線徳倉工区において工事に伴い導線がわかりにくくなっている。壱町田交差点から市道幸原富士ビレッジ線までの早期供用開始を求めるがいつになるか。	
5 楽寿園では2cmくらいの深さの砂利の所や坂で車椅子移動が難しい状態にある。 (1) すぐに深いところの砂利を取り除けないか、また砂利の深さを1cm以下に管理できないか。 (2) 菊まつりイベント時にレンタルで電動車椅子ウィルを用意できないか。	
質問事項 2	市管理地や荒廃地の草刈り等整備支援策
具体的内容	
さまざまな理由で土地の管理がなされずに放置され、草などが伸び放題で周辺環境や景観などに悪影響を及ぼしている所をどうしていくか、また市管理地でも草刈り等整備において除草作業に多くの時間を取られているのではないかと考えるがその対応状況とこれからの効率化について以下に伺う。	
1 耕作放棄地について令和3年度から荒廃農地の区分が変更されているが、旧A分類、B分類の面積はどのように推移しているか。	
2 耕作放棄地の草刈り等の管理されていないところに対してその整備について現状どのように解決に取り組んでいるか。	
3 リモコン式草刈り機を導入して人的負担軽減と草刈り作業時間の短縮を図れないか伺う。この機械の作業能力は6人分の能力があるとされ、そのスピードの速さと人的負担軽減は明らかである。 (1) 耕作放棄地において管理の要請をしても対応が難しい場合、リモコン式草刈り機を貸し出し、管理者の草刈り作業の負担軽減を図る事により整備を進められないか。 (2) 河川の法面や市管理地の草刈りをリモコン式草刈り機使用で効率化できないか。 (3) 公園等の草刈り作業に導入できないか。	

一般質問発言通告書

発言順位 4番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 4年 11月 22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 20番 古長谷 稔

質問事項1	市民に寄り添った行政サービスを提供する新体制の構築に向けて
具体的内容	コロナ禍で雇用が不安定となる中、ひとり親家庭、認知症、様々な障がい、介護、ヤングケアラーなど、困りごとを抱えながらも、行政が打ち出す行政サービスの対象に自分になっていることにすら気づけず、また気づいたとしても、生活にも気持ちにも余裕がなく、手続きの時間も取れず、結局は行政サービスにつなげられず、困りごとが積み重なっていく市民が多く存在している。三島市の未来を考える上で、新庁舎の基本構想を検討している今こそ、三島市の行政サービス提供の仕組みを大幅に再構築できるチャンスではないか。この視点から、以下同う。
	1 取り残されている市民の実態把握について
	2 「広報みしま」等で行政サービス情報が届かない市民の数(割合)の把握状況、行政サービスから取り残されてしまう原因の分析状況、行き渡るように改善する方針について
	3 困りごとを抱える市民を行政サービスにつなげる役目は誰が担うのか。自治会長や民生委員の担い手不足の現状と、今後、市職員等が介入して改善できる可能性を含めた改善方針は。
	4 マイナンバーカード導入の現状、今後導入が進むと行政サービスはどう変わるのか。
	5 三島市公式LINEの狙いと現状、プッシュ型の情報共有の実現可能性について
	6 市民が自宅等から行政サービスにつなげられる仕組みとして、困りごと当事者のスマホ等の画面上で、複数課が同時参加するケース会議を開催できるか否か、検討の現状と将来展望は。
	7 市民に寄り添った行政サービスの実現に向けてロードマップ作りが必要。職員に加え、専門家や市民が集まり、みんなで考える場を創ってはどうか。
	8 職員が自宅や公民館等でテレワークをすることは可能か、障壁は何か。環境整備の現状と、大幅導入できない障壁について
	9 職員のテレワーク体制強化が、災害時対応の強化にもつながると考えるがいかがか。
	10 新庁舎の基本構想には、スマホ等による行政サービス提供が可能となる時代を見据えた、自由に変更できるフロア構成や、その際の働き方改革の視点が必要と考えるがいかがか。
質問事項2	三島駅南口東街区再開発における市民合意形成プロセスについて
具体的内容	三島市医師会が、再開発ビルへの順天堂大学病院の進出に対して、全面白紙撤回を求める申し入れをしたと聞く。市民合意形成プロセスに課題が見える。この点について同う。
	1 医師会との合意形成プロセスの経過と合意状況、今後の対応について
	2 商工会議所との合意形成プロセスの経過と合意状況、今後の対応について
	3 環境市民団体との合意形成プロセスの経過と合意状況、今後の対応について
質問事項3	三島市沢地の違法盛り土の危険性について (再質問)
具体的内容	9月定例会での答弁を踏まえ、その後10月初旬に発生した台風15号による浜松市内の違法盛り土の崩壊や、静岡市内での送電線鉄塔基礎地盤の崩壊等も踏まえて、以下同う。
	1 当該違法盛り土への県の調査実施の背景と現状、調査結果が出る時期など今後の予定は。
	2 安全との調査結果が出るまでは危険の可能性ありと考える。今、想定される災害はどんなものか、地震や水害時、危険を冒して現地確認をせずとも盛り土崩壊の予兆を遠隔から感知して、避難誘導等につなげ災害を防げる対策はないか。
	3 県も市も関わる違法盛り土。安全確保、現状復帰は誰がいつ執行するのか、させるのか。

一般質問発言通告書

発言順位 5番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和4年11月22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 10番 河野 月江

質問事項1	三島駅南口東街区再開発事業における導入医療機能と権利変換計画同意について
具体的内容	三島駅南口東街区A地区市街地再開発組合は今年度中の権利変換計画(以下「計画」という)認可を目指す、そのためには都市再開発法上、「各地権者からの計画への同意書集め」「計画の決議総会の開催」を経て、計画の縦覧(2週間)開始に12月末までにこぎつける必要がある。まさに今の時期が、組合によって、三島市を含む地権者からの同意書集めが行われている最中である。その最中の先月4日『静岡新聞』が、広域健康医療拠点への順天堂大進出の意向とともに、医師会から地域医療への影響などへの不安や懸念の声が上がっていることを報じた。広域健康医療拠点整備と医療機能導入については、これまで自身も含め、多くの議員が再三にわたり市の基本姿勢を質し、「医師会との相談で詳細を定めていく」旨の言質を得てきた。それにもかかわらずこうした事態を招いていることは、医師会はもとより議会の軽視と言わざるをえない。権利変換計画に三島市が同意をするにあたっては、計画の詳細を十分市民に説明した上で市民の同意を得てからとすること、医療機能の導入にあたっては今からでも医師会の要望をふまえて丁寧な協議をおこない実施設計に反映させることを求め、以下について伺う。
	1 広域健康医療拠点の導入機能について
	2 実施設計の進捗状況について
	3 権利変換計画を決議する組合総会の日程について
	4 市有地の権利変換と同意について
	5 県知事から要請を受けている「5分野16項目の検証」への対応について
質問事項2	市内小学校における通学用カバンについて
具体的内容	自分の身体に合わない重さや大きさのランドセルを背負ったまま長時間通学することによる心と身体の不調、いわゆる「ランドセル症候群」が注目されつつある。具体的には、小さな体で3kg以上の重さがある通学カバンを背負いながら通学することによる、筋肉痛や肩こり、腰痛などの身体異常や、通学自体が憂鬱に感じるなど気持ちの面にまで影響を及ぼす状態を表す。15年間で教科書が2倍もの重さとなったことに加え、タブレット導入によってますます子どもたちのランドセルの中身が重くなっていくのを前に、文科省は平成30年9月、事務連絡「児童生徒の携行品に係る配慮について」を発出した。当市においても、家庭学習に必要な教科書・教材を学校に置いておくいわゆる「置き勉」を可とする配慮など、対応がなされているところである。一方、これを機に、ランドセルと比べ、より軽量で安価な通学カバンへの注目も集まっており、新入学の児童に無償で提供する自治体も生まれている。今後、子どもとその保護者が、希望と条件に合った通学用カバンをより選択しやすくしていくための条件づくりを求め、以下について伺う。
	1 iPad機能を利用した教科書・教材の持ち帰りの到達点と課題について
	2 小学校における通学用カバンの案内の現状について
	3 軽量で安価なカバンを児童・保護者が選びやすくするための方策について

一般質問発言通告書

発言順位 6番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 4年 11月 22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 15番 岡田 美喜子

質問事項1	子どもを産み育てやすい環境の整備～孤立防止について～
具体的内容	<p>現在の日本は、少子化や核家族化、地域社会の変化など、子育て環境が大きく変化しています。そのような中、家庭や地域における子育て機能の低下に加え、新型コロナウイルス感染症の流行で、妊娠・出産・育児をしている家庭は、孤独感や不安感を増大させています。</p> <p>厚生労働省によると、2021年4月時点で保育所に通う0歳～2歳児は約40%であり、0歳～2歳児の6割が保育所に通っていません。幼保無償化によって3歳児～5歳児の保育料負担は軽減しましたが、0歳～2歳児の非課税世帯を除き多くの家庭が無償化とはならず、家庭で保育されているものと思われます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で収入は減り、家事の負担は増え、外部との交流も減り、0歳～2歳児を育てる保護者の孤立防止が課題であり、支援が必要となっています。</p>
	<ol style="list-style-type: none">1 0歳～2歳児の状況把握について2 コロナ前後の相談状況の変化について3 地域子育て支援拠点事業の利用状況について4 孤立防止への相談体制の充実について、乳幼児家庭全戸訪問事業の拡充ができないか。5 子育て世帯の外出支援の充実について
質問事項2	外国ルーツの子どもたちの就学支援の充実について
具体的内容	<p>平成30年12月に出入国管理及び難民認定法の改正により、さらなる在留外国人の増加が予想されます。文部科学省は、令和元年に続き令和3年度に「外国人の子供の就学状況等調査」を行い、その結果が令和4年3月に公表されました。調査によると、不就学の可能性があると考えられる外国人の子どもの数は1万46人でした。</p> <p>国は、外国人の子どもたちが将来にわたって日本に居住し、共生社会の一員として今後の日本を形成する存在であるとして、外国人の子どもに対する就学機会の提供を推進しています。</p> <p>「外国人の子供の就学状況等調査」について、三島市の回答も公表されていることから、その内容と外国人の子どもたちの就学促進の取り組みについて伺います。</p>
	<ol style="list-style-type: none">1 外国ルーツの子どもたちの就学状況の把握について2 外国人が住民登録にかかる手続きの際の就学案内について3 県教委の「トータルサポート」と「日本語指導が必要な子」への「特別の教育課程」の編成に対する基準について4 学齢を超過した外国人への配慮について5 高等学校等への進学促進の取り組みについて6 外国人児童生徒支援員の配置について7 外国人が交流できる居場所づくりについて

一般質問発言通告書

発言順位	7番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和4年11月22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 21番 杉澤 正人

質問事項1	市内児童生徒のコロナ禍の影響によるいじめ・不登校の状況について
具体的内容	<p>先般公表された、文部科学省初等中等教育局児童生徒課による令和3年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」を踏まえて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">この報告書に対する教育委員会の見解について三島市における、①暴力行為 ②いじめ ③不登校の実態はどうか。 実数統計等があれば内容を伺う。上記を概括して、ここ数年のこれら問題の推移、傾向をどう分析しているか。今般のコロナ禍による影響とみられる実態はあるか。学校現場から報告されている実例、教員の対処事例を伺う。市教育委員会としてどのような指導・助言をしたか、その効果はどうか。
質問事項2	青少年相談室、ふれあい教室の活動状況について
具体的内容	<p>いじめ問題、不登校等の児童生徒に関する相談窓口として、青少年相談室、ふれあい教室が設置されているが、それぞれの活動状況を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">現在の「相談件数」「活動実績」の概要について北上公民館、中郷公民館での訪問相談の実態、現状、効果について相談業務、不登校対策の今後の展望を伺う。
質問事項3	山中城跡整備、向山古墳群整備について
具体的内容	<p>コロナ禍の先を見据えて、山中城跡整備、向山古墳群整備の現状及び今後への展望を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">先般(令和4年11月13日)、三島市教育委員会の後援を得て私的団体、甲冑武者サークル SacT「山中城戦国武将隊」によるイベントが山中城跡にて行われた旨、市の広報にて紹介されている。後援者の立場として、この活動(イベント)をどう評価するか伺う。今後のイベント等の予定、広報活動の計画について伺う。向山古墳群の国指定公園への進展につき、現状報告を伺う。

一般質問発言通告書

発言順位	8番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和4年11月22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 18 番 土屋 利絵

質問事項1	不登校ゼロに向けて、誰一人取り残さない取り組みについて
具体的内容	<p>文科省で先日、不登校と判断された児童生徒は、小中学校で24万人、過去最多と報道されました。これは、21年度よりも24.9%増加していることとなります。今、徹底して、この課題を抱えた子どもたちに向き合っていかなければならない状況だと考えます。</p> <p>三島市では9月の補正予算でスクールソーシャルワーカー勤務時間数の増加、この度の補正で、校内フリースクールの設置など、非常にかんばっていただいている最中ですが、重ねて質問していきます。</p> <ol style="list-style-type: none">ふれあい教室を利用している児童生徒の推移について市内中学校につくる予定の校内フリースクールについて人員の配置についてメタバース登校導入について不登校ゼロへの取り組みについて
質問事項2	箱根の山をもっと健康に、もっと身近なものにしていくために
具体的内容	<p>箱根の山には立派に育った樹木も多く、その活用の必要性がうたわれています。同時に、森林を整備し、自然環境の保全、地球温暖化の防止、林産物の供給などの森林の多面的な機能の維持増進を図っていくことは、本当に大切なことです。今、箱根の山の活用の仕方を再度検証し、森林保全と観光誘致を進めていくことが必要です。以下伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">箱根山の木を使ったおもちゃづくりについて箱根西麓の観光エリアについて箱根の観光エリアと環境保全が両立した観光誘致について

一般質問発言通告書

発言順位 9番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和4年11月22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 4番 堀江 和雄

質問事項1	子ども子育て政策のアイデアと女性の政策司令塔
具体的内容	子どもは未来の宝・地域の宝として、地域で見守り育てられている子どもたち。お父さんお母さんを笑顔にするのはやっぱり子どもたち。5年10年20年先のこれからのまちづくりは、子どもたちが主役です。子どもたちが笑顔で生活できる様々な環境を整えるのは、私たちの最優先の仕事であると考えます。
	1 子ども子育て政策をど真ん中に置く予算・権限をもつ女性の政策司令塔が必要と考えるが。
	2 これからの子ども子育てをど真ん中の政策アイデアを民間に伺うのはいかがか。(SIB)
質問事項2	これからの三島の戦略性
具体的内容	子ども子育て政策を推進していく中でも、残念ながら数十年は人口が減少していく。人と人、民間と民間が融合する事により、アイデアなどを募り民間の知恵を借りることが地方都市の生き残り戦略であると考えます。
	1 ガーデンシティの取り組みを発展させて「環境都市」グリーンシティを目指すことについて
	2 スマートウェルネスを発展させて「医療・健康都市」日本版ロチェスターを目指すことについて
	3 三島駅前に高度な医療の拠点を創り、名実ともに医療・健康都市を確立し、市民一人一人をデータに基づいて健康管理をサポート実現する、その先の医療・介護・看取りをまるごと実現していく戦略に発展させることについて(地域包括ケア・三島版 CCRC など)
質問事項3	地域再生の主体は民間活用
具体的内容	自治体の担うべき役割を明らかにし、民間でできることは民間に移行する。自治体DX、スマート市役所などにより、自治体業務の仕分けによるスリム化と民間活用について伺う。
	1 市役所業務の棚卸しを行い、民間活用が可能な業務と公共が担うべき業務の仕分けを行う必要性について
	2 優れた民間人材(DX人材など)の登用と職員の育成(企業派遣)について
	3 民間の持つノウハウや資金力を我が街に呼び込むことについて
	(1) これからの三島の「魅力あるビジョン」の提供(IR)とプロフェッショナル人材育成及び外部人材の登用について(金融・マーケティング・税に関する情報を提供)
	(2) 大場地域のエリアデザインをはじめとする三島市南部を中心とした「グランドデザイン・企業立地推進ビジョン」の策定について
	(交通アクセスの改善(西間門新谷線の整備促進と周辺企業誘致、伊豆箱根中間駅の設置等)、職住の近接)

一般質問発言通告書

発言順位 10番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 4年 11月 22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 13番 中村 仁

質問事項 1	大場・函南 IC 周辺の土地開発・まちづくりについて
具体的内容	
大場土地利用推進協議会をはじめとする「地域・地元」と「三島市」が、ようやく上手くかみ合い、進み方にも希望が見えてきました。改めて、これからの工程等について質問します。	
1 「令和4年度大場・函南 IC 周辺街づくり基本業務委託」の進捗状況と、現在行っている地権者への個別面談から得られている感触・印象などについて	
2 今後想定される事業の主なプロセスについて	
3 事業推進に向けた市の組織に関する考え方について	
4 市における令和5年度当初予算の要求状況について	
5 この事業の実現に向け、治水対策は大きな課題だが、その他に市が考えている課題にはどのようなものがあり、それはどのように解決していくべきものだと考えているのか。	
質問事項 2	公園管理の自治会委託など市内公園等の管理・保全に対する三島市の考え方
具体的内容	
公園の草刈りの作業などを市から自治会等へお願いし、協定を結び、移管を進めていると認識しています。それらの内容と状況、ガーデンシティの絡みなどについて質問します。	
1 市が考えている公園管理等の今後の在り方、進んでいく方向性について	
2 地元自治会等への公園管理の移管等の現況について	
3 企業立地の視線で見た三ツ谷工業団地内の公園の維持管理について	
4 市民目線で見た三ツ谷工業団地内の公園の維持管理について	
5 ガーデンシティに向けての今までの取り組みと今後目指すところについて	
質問事項 3	新型コロナウイルスに向き合う三島市の考え方
具体的内容	
感染者が再び増えてきて、またいろいろと「自粛」が始まるのが普通のようにも感じています。来年以降も大きな状況変化は起こらないように思われます。三島市のワクチン接種の現状と、今後の対応に関する考え方を伺います。	
1 ワクチン接種の経過・現状について	
2 三島市が行ってきた「対策」と今後の対応の方針について	

一般質問発言通告書

発言順位 13番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和4年11月22日

三島市議会議長 川原章寛様

三島市議会議員 6番 石井真人

質問事項1	豊岡市政これまでの12年間の実績と評価
具体的内容	豊岡市長が市長に就任してから12年経ちました。掲げた公約や計画をどこまで実現できたのか。豊岡市政のこれまで12年間の実績と評価について以下に伺う。
1	「ガーデンシティみしま」への実績と評価
(1)	これまでかけてきた予算総額と観光振興・商業振興に対する費用対効果について
(2)	市民参加に関しての実績と評価について
2	「スマートウェルネスみしま」への実績と評価
(1)	みしま健幸塾事業、みしまタニタ健康クラブ事業の費用対効果について
(2)	市民の健康に関しての実績と評価について
3	12年間で積み残した課題と今後の方針
(1)	合計特殊出生率の目標値を1.6以上と掲げ、達成できなかった理由と今後の方針について
(2)	当初公約で掲げていたが実現できなかった課題は何か、できなかった理由と今後の方針について
質問事項2	今後4年間の三島市における財政上重要な事業について
具体的内容	三島市の今後4年間について、どのような方針で、三島市政を運営していくのか。財政上の重要施策について考えを以下に伺う。
1	ファシリティマネジメントの今後の見込み
(1)	物価高騰による計画への影響、改修建替え経費の総額562億円とされている金額の変更は、
(2)	今後4年間の中で、経費削減に寄与する主な事業計画は何か。
2	三島駅の今後の見通し
(1)	駅前南口東街区再開発事業の費用便益比の変動と実施設計後の工事費の見通しについて
(2)	南北自由通路についての今後の方針と財政負担について
3	医療関連施設に関する財政負担と考え方
(1)	メディカルセンターの移設先および三島市の財政負担の考え方について
(2)	三島市医師会との連携及び広域健康医療拠点との関連性について
4	新庁舎の建設費に関する考え方
(1)	予想する財政支出と庁舎建設基金の今後の積み立て計画について
5	楽寿園の持続的な財政運営について
(1)	財政赤字額をこのまま継続するのか。それとも、赤字解消に取り組むのか。
6	下水道事業に関する方針と費用
(1)	下水道事業会計への一般会計からの繰り出し状況と今後の赤字解消に関する考え方は、
7	廃棄物処理事業に関する方針と費用
(1)	焼却炉更新について広域連携も含めた今後の方針と費用について
(2)	最終処分場と焼却灰の外部搬出費用の今後の見込みと考え方について
8	儲かる街、稼げる街に向けて
(1)	歳入増に向けての4年間の将来ビジョンについて

一般質問発言通告書

発言順位 15番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和4年11月22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 2 番 甲斐 幸博

質問事項 1	豊岡市長3期12年の総括と今後について
具体的内容	
<p>豊岡市長がガーデンシティ、スマートウエルネスシティを掲げて、「元気・安心・希望あふれる三島」を目指した3期12年の間に、三島市は大きな飛躍を遂げ、近年は観光交流人口が700万人を超え、高齢者福祉や子育て施策は近隣市町の中でもトップクラスの充実ぶりで、令和になってからは移住定住者数が県下一となるなど、市内外から高い評価を得るまでになりました。</p> <p>これらの取組により、三島市の注目度が全国的に盛り上がったことで、再開発事業や企業誘致などで大きな民間投資を呼び込み、その民間投資が呼び水となり、更なる注目を集め、次の民間投資を呼ぶ地域経済の好循環が生まれていると感じています。</p> <p>このように、コロナ禍で世の中が大きく変わる中、少子高齢化や社会経済の困難を乗り越え、この先も安心・安全な暮らしを守りながら、「自然」と「都市」の利点を兼ね備えた魅力ある市民生活を実現し、選ばれる三島市を作り上げるためには、これまで以上に官民挙げての取組が必要と思います。</p> <p>そこで、豊岡市長は、これまでの3期12年の市政が、どのように三島市の持続的発展を支え、市民一人一人の幸せな暮らしを維持することにつながったと考えるか、さらにこの先の戦略はどうあるべきと考えているのか伺います。</p>	
1 豊岡市長3期12年の総括を伺います。	
2 コロナ禍や物価高騰などに対応した経済対策について伺います。	
3 アフターコロナを見据えた今後の経済対策を具体的にどのように考えているか伺います。	
4 三島駅南口再開発事業の経過と今後の取組について伺います。	
5 組合設立の認可にあたり、県から送付された要請事項の対応について伺います。	
6 税金や働く場所の確保のための企業誘致について、これまでの成果と併せて、今後企業誘致のためにどのような取組が必要となるか伺います。	
7 若者や女性の活躍や起業・創業について、具体的にどのように支援していくのか伺います。	
8 コロナ禍を機に、国ではデジタル化の推進を強力に推し進めています。本市におけるデジタル田園都市の実現について伺います。	
9 デジタルやウェルビーイング指標について推進していくとのことですが、具体的にどのような取組を進めていくのか伺います。	
10 市長就任後、12年間で三島市の財政状況はどのような変化があったのか伺います。	
11 今後の財政計画について伺います。	
12 学校の環境整備について伺います。	
13 三島市の更なる持続的発展のために、今後どのような取組が必要と考えているか伺います。	